

常任委員会の動き

○ 審査概要 ○ 委員会活動

各常任委員会に付託された議案の主な審査内容や委員会活動などの状況は次のとおりです。

議会運営委員会

8月31日に9月定例会運営のための委員会を開催し、会期日程及び議案の取り扱い等について協議しました。その際、一般質問の発言順序をくじにより決定しました。

また、9月10日には議会の進行について、13日には3件の請願審査、24日には追加議案の取り扱いを協議しました。

決算審査特別委員会

議会では、委員8名で構成する決算審査特別委員会を設置し、今定例会で継続審査とした「平成21年度行田市一般会計歳入歳出決算認定について」を付託しました。同委員会は閉会中に審査を行い、その結果を12月定例会で報告することとなります。なお、委員は次のとおりです。

- 委員長 田口 英樹
- 副委員長 小林 友明
- 委員 三宅 盾子
- 委員 中村 博行
- 委員 二本柳妃佐子
- 委員 漆原 金作
- 委員 大久保 忠
- 委員 松本 安夫

総務

当委員会では、付託を受けた2議案について審査を行いました。いずれも原案のとおり可決しました。

○平成22年度一般会計補正予算(第2回)について

問 庁舎耐震補強工事に関連する建設部、都市整備部の県地方庁舎への移転は永続的なものか。また、両部が移転した後のスペースはどのように利用するのか。

答 建物の所有者である県との協議になるが、永続的な移転となる可能性はある。移転後のスペースは、市民の利便向上等にあてる考えである。

文教経済

当委員会では、付託を受けた1議案及び総務委員会から審査依頼を受けた1議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

○平成22年度行田市一般会計補正予算(第2回)について

問 来年1月の南大通線全線開通に伴う市内循環バスの新路線の区間や停留所の設置はどのくらい見込んでいるのか。

答 区間としては、JR行田駅から国道125号線まで約7kmで停留所は、概ね500m毎を想定しており14箇所前後になる予定である。今後検証を重ね決定したい。

建設

当委員会では、付託を受けた6議案及び総務委員会から審査依頼を受けた1議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

○行田市道路線の認定・廃止について

問 実体のない路線の把握について、今後、どのような調査を考えているのか。

答 道路台帳は、年1回の補正作業と、道路改良事業等に伴って台帳の整備をしている。今後、境界査定業務などで、公図や登記簿等を調べる機会を捉えて、確実に現地との整合性を図っていききたい。

民生

当委員会では、付託を受けた8議案及び総務委員会から審査依頼を受けた1議案について審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。また請願1件については不採択としました。

○平成21年度行田市国民健康保険事業費特別会計歳入歳出決算認定について

問 特定健康診査の受診率が18%から23.3%に向上したが受診率をどのように分析しているか。

答 国の定めでは、平成24年度終了時点で65%が義務付けられており、十分ではない。



庁舎正面



市内循環バス



市道認定に伴う現地視察



審査風景